

2022年3月28日付

## 令和3年度 農業研修者（地域おこし協力隊・就農研修者）研修結果報告

氏名：河合 大輔

受入先：(株)大西農産（多寄地区）



① 令和3年度の研修を振り返って（学んだ内容や感想等）

農家の一年間の仕事の流れについておおまかに学ぶことができました。また、農業機械の運転に必要な免許を取得することができ、機械での作業や整備について大まかではありますが、学ぶことができました。

② 令和4年度の研修に向けた目標や意気込み（独立就農する方はその意気込み）

令和4年度は、自作研修として大豆やビートを行う予定です。しっかり勉強し、毎日考えながら研修に励みたいと思います。

③ 目指す将来像について（将来どのような農業を目指しているか）

現在、研修中である多寄地区で就農できれば良いと考えています。地域行事にも積極的に参加し、地域の方々との繋がりを大切にした農家になりたいです。今のところ、具体的にどんな作物で就農ということは決まっていないが、研修期間中に、退任後の事もしっかり考えてやっていきたいと思っています。

氏名：宮内 汰朗

受入先：(株)田舎塾（上士別地区）



① 令和3年度の研修を振り返って（学んだ内容や感想等）

播種の仕方によって発芽するかしらないか、発芽のタイミングが変わってくるので播種の大切さを学ぶことができました。とらなくてもいい草と、とらないといけない草の判断を素早くし草を取るスピードを上げていきたいです。

② 令和4年度の研修に向けた目標や意気込み（独立就農する方はその意気込み）

今年度学んだことをいかして研修していきます。

バケツ稲に挑戦しましたが、汚いお米しか取れなかったので来年度は水管理と病害中対策をしっかりしてきれいなお米がとれるように頑張ります。

③ 目指す将来像について（将来どのような農業を目指しているか）

お米農家一本でやっていこうと思っていましたが、お米だけでは厳しいところがあるので、野菜も育てていこうと考えています。

氏名：大川 尚

受入先：(農)あさひ (朝日地区)



① 令和3年度の研修を振り返って (学んだ内容や感想等)

ミニトマト、かぼちゃ、長ネギ、にんにくの栽培を教わりました。育苗時期の温度管理、ミニトマトの灰カビや葉ダニの防除については特に丁寧に指導していただきました。長ねぎとかぼちゃは道の駅に出荷することができ、自分たちで作った作物が店頭にならぶのを見て、うれしい気持ちになりました。

② 令和4年度の研修に向けた目標や意気込み (独立就農する方はその意気込み)

昨年と同じ作物になりますが、より良いものにできる様に防除のタイミングや土づくりをさらに学んでいきたいと思えます。

③ 目指す将来像について (将来どのような農業を目指しているか)

施設野菜、露地野菜において、低農薬での栽培を目指し、さらに加工品にも取り組みながら、一年を通してなるべく長く作物を出荷できる農業を目指したいと考えています。

氏名：藪 愛香

受入先：(農)あさひ (朝日地区)



① 令和3年度の研修を振り返って (学んだ内容や感想等)

ハウス準備や土づくり、作物の栽培、出荷方法を学びました。また、去年は高温障害や病気などがあり、出荷できる作物を育てる難しさを学びました。販売した作物の感想を聞く機会があり、喜びと達成感を味わうことができました。

② 令和4年度の研修に向けた目標や意気込み (独立就農する方はその意気込み)

作物の栽培方法を学んだ中で感じた反省点などを改善して取り組んでいきたいと思います。また、経営に関しては、特に簿記や加工品販売についても学んでいきたいです。

③ 目指す将来像について (将来どのような農業を目指しているか)

施設野菜、露地野菜を中心に低農薬栽培を目指したいです。また、加工品販売にも取り組んでいきたいと思います。

氏名：多羽田 司

受入先：中村 光晶（朝日地区）



### ① 令和3年度の研修を振り返って（学んだ内容や感想等）

中村光晶さん（北海道指導農業士）のもとで畑作物の栽培管理や圃場管理、機械作業や機械整備など、本当にたくさんの経験をさせていただきました。また、中村さんの配慮で、地区農事組合の水路掃除や公民館の草刈り、神社の環境整備、地域イベントなどにも参加させていただき、地域のつながりを体感させていただきました。

また、北海道農業大学校主催の各種講習会、農業改良普及センター士別支所のご協力による上川農業試験場視察研修会、市農業振興課主催の冬期講習会など、幅広く様々な学習機会を与えていただき、本当に充実した研修となりました。

中山間士別市あさひ集落には「あさひ新規就農支援チーム」を立ち上げていただき、栗本代表の呼びかけにより、就農地を確保すべく農業者との懸け橋となっただけではありません。北ひびき農協朝日支所には就農シミュレーションや資金計画などを作成していただき、経営に関する全面的なサポートをしていただきました。

1年間という短い研修期間でありながらも新規就農のスタートラインに立てたのは、受け入れ農家、関係機関をはじめ、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげです。皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。

### ② 令和4年度の独立就農に向けた目標や意気込み

初年度は、計13haの農地に大豆、秋小麦（播種のみ）、食用馬鈴薯、甜菜を作付けします。今年、まず作物をしっかり観察し、適期作業・基本技術の励行に努め、計画収量を確保することが目標です。

### ③ 目指す将来像について（将来どのような農業を目指しているか）

就農する朝日地区は市内でも特に中山間地で、決して恵まれた営農条件ではありませんが、だからこそ地域農業者が一丸となって国や道の交付金を活用しながら独自の農作業受委託体系を造り上げ、不利条件を克服してきた地域です。

今後も厳しい農業情勢が見込まれますが、この地域の強みを生かして、この地域の農業の未来が明るくなるよう尽力して参りたいと思います。